

## ハリガネワラビとヤワラシダ（ヒメシダ科） をトカラ列島中之島に記録する

田金秀一郎・丸野勝敏・鈴木英治

<sup>1</sup> 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

### はじめに

ハリガネワラビ *Thelypteris japonica* (Baker) Ching とヤワラシダ *Thelypteris laxa* (Franch. et Sav.) Ching はヒメシダ科 (Thelypteridaceae) に属し、どちらも日本・中国・台湾・韓国に分布する夏緑性のシダである (岩槻, 1992; Lin et al., 2013; 海老原, 2016)。日本においては、ハリガネワラビは北海道～九州にかけて、ヤワラシダは本州・四国・九州に広く分布し (南限はどちらも鹿児島県屋久島) (初島, 2004; 海老原, 2016)、それ以南のトカラ列島 (志内・堀田, 2016) や奄美群島 (堀田, 2013)、沖縄県 (初島・天野, 1994; 島袋, 1997) では 2 種の分布はこれまでに確認されていない。

著者らは 2019 年 10 月 8-9 日にトカラ列島中之島において植物相の調査を実施した際、これら 2 種の分布を確認し、証拠標本を得ることができた (図 1, 2)。今回の発見はそれぞれの種の日本における分布南限の更新とトカラ列島の植物相を特徴づけるという点で注目に値するため、ここに正式に報告する。

### 観察記録および考察

ハリガネワラビ (図 1) とヤワラシダ (図 2) の 2 種が確認されたのは中之島の最高峰である御

岳 (標高 979 m) 南斜面の登山道、標高 800 m 地点であった。2 種はほぼ同所的に生育しており、周囲一帯にはリュウキュウチクが繁茂し、下層植生としてはハリガネワラビとヤワラシダの他にベニシダ、オオキジノオ、ヘツカリンドウなどが観察された。

鹿児島県においては、2 種とも九州本土の標高約 200 m 程度から 1100 m の冷涼な湿潤環境にやや普通に生育する種であるため、鹿児島県レッドデータブック (鹿児島県, 2016) では希少種として扱われていないが、南限種であることから環境の変化などによって容易に地域絶滅危惧種になるおそれがあるとして「鹿児島県の分布特性上重要な種」として掲載されている。中之島における 2 種の生育適地は、霧 (雲) に覆われやすい高標高域のみに限定されると考えられ、また野生化しているヤギによる食害も心配されるため、今後集団 / 個体数について注視していく必要があるかもしれない。

志内・堀田 (2013) は、中国や台湾などに分布するが、国内では中之島を分布の南限とする植物としてフサモ、ヒメクラマゴケ、センボンヤリ、オオカグマ、コガンピ、イヌガンピ、ナガバジャノヒゲを挙げており、今回報告するハリガネワラビとヤワラシダもこれらに加わった。引き続き、トカラ地域をはじめ鹿児島県全域の植物相解明に知見を積み重ねていきたい。

証拠標本 (鹿児島大学総合研究博物館植物標本室 (KAG) の標本データベース (<https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/hyouhonsitu.html>) にて閲覧可能)

Tagane, S., K. Maruno and E. Suzuki. 2019. The new locality of *Thelypteris japonica* and *Thelypteris laxa* (Thelypteridaceae) on Nakanoshima Island, Tokara Islands, southern Japan. *Nature of Kagoshima* 46: 231-234.

✉ ST: The Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: [stagane29@gmail.com](mailto:stagane29@gmail.com)).

Published online: 25 November 2019

[http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK\\_046/046-049.pdf](http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_046/046-049.pdf)



図1. ハリガネワラビ *Thelypteris japonica* (Baker) Ching. A: specimen Tagane S. 1086bis (KAG1286656), B: portion of pinnae (abaxial side), scale bar = 5 mm.

ハリガネワラビ *Thelypteris japonica* (Baker) Ching  
JAPAN. Kagoshima Pref.: Tokara, Nakanoshima  
Island: Mt. Odake, on the trail to the summit, 8 Oct.

2019, Tagane S. 1086bis (KAG128656).

ヤワランシダ *Thelypteris laxa* (Franch. et Sav.) Ching

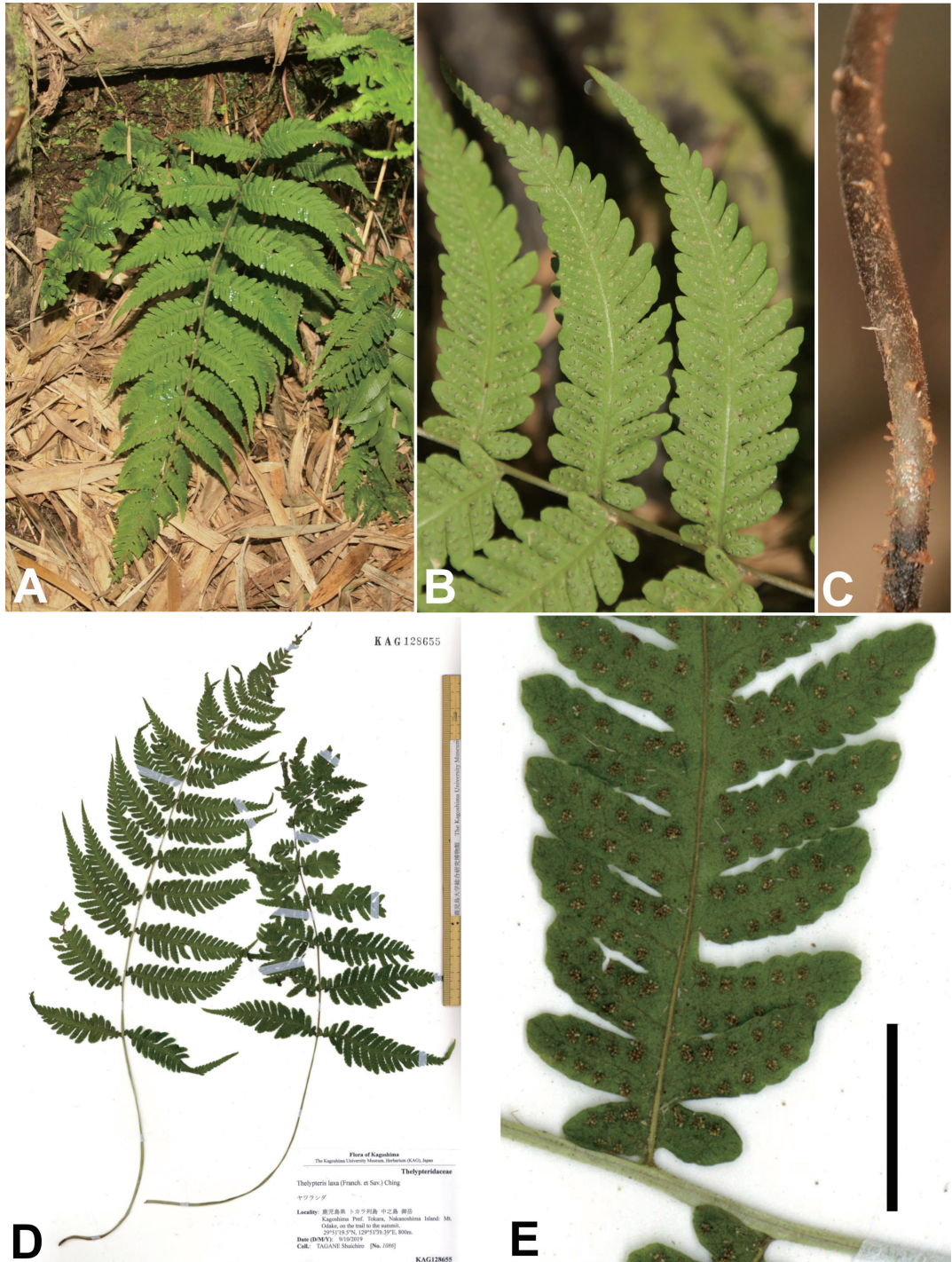


図2. ヤワラシダ *Thelypteris laxa* (Franch. et Sav.) Ching. A: habit, B: pinnae (abaxial side), C: base of stipe, D: specimen *Tagane S. 1086* (KAG128655), E: portion of pinnae (abaxial side), scale bar = 1 cm.

JAPAN. Kagoshima Pref.: Tokara, Nakanoshima Island: Mt. Odake, on the trail to the summit, 8 Oct. 2019, *Tagane S. 1086* (KAG128655).

#### ■ 謝辞

本研究は鹿児島大学国際島嶼教育研究セン

ターの「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」の一環として行われた。本研究を実施するにあたり、現地調査を許可していただいた十島村役場の方々に厚く御礼申し上げます。

## ■ 引用文献

- 海老原淳. 2016. 日本産シダ植物標準図鑑I. 学研プラス, 475 pp.
- 初島住彦. 2004. 九州植物目録. 鹿児島大学総合研究博物館, 343 pp.
- 初島住彦. 1975. 琉球植物誌 (追加・訂正). 沖縄生物教育研究会, 1002 pp.
- 岩槻邦男 (編). 2000. 日本の野生植物 シダ. 平凡社, 311 pp.
- 鹿児島県. 2016. 改訂・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物—鹿児島県レッドデータブック2016—植物編. 鹿児島県環境技術協会, 鹿児島, 499 pp.
- 堀田 満. 2013. 奄美群島植物目録. 鹿児島大学総合研究博物館, 379 pp.
- Lin Y. X., Z. Y. Li, K. Iwatsuki and A. R. Smith 2013. Thelypteridaceae. In: Wu, Z. Y., P. H. Raven and D. Y. Hong (Eds.) Flora of China 2–3 (Pteridophytes). Beijing, Science Press & Beijing, and Missouri Botanical Garden Press, St. Louis, pp. 319–396.
- 島袋敬一. 1997. 琉球列島維管束植物集覧. 九州大学出版会, 855 pp.
- 志内利明・堀田満. 2015. トカラ地域植物目録. 鹿児島大学総合研究博物館, 368 pp.